

「100年先の利益」を考える欧州人に学ぶべし

新NISAに飛びついた人に警鐘! これが失敗する人の行動パターンだ

日経平均株価が2月22日、バブル期の1989年に付けた過去最高値を上回った。
新NISA開始の波に乗り投資を始めた人にとっては快然たる状況だが、この株高は今後も続くのか。

アリスタゴラ・アドバイザーズ
代表取締役会長

篠田 丈

Takeshi Shinoda

1985年、慶應義塾大学を卒業。EU圏の大手金融機関であるBNPパリバ証券などを経て、2011年3月より現職。日本、シンガポール、イスラエルの拠点から、伝統的プライベートバンクとともに富裕層向け運用サービスを展開。様々なファンドの設定・運用や、コーポレートファイナンス業務等を行う。



新NISAが注目されています。

年初から日本株、米国株が大きく上昇し、NISAを利用して利益を得ている人も多いでしょう。しかし、株価は上がることもあれば下がる局面もあります。またNISAはあくまで運用益が非課税になるだけで、必ず利益を生み出す魔法の杖ではありません。何に、どう投資するかが重要であり、そこを理解しないまま投資をすると大きな損を被る危険性もあります。

デフレ脱却と言われる一方で、倒産件数は22カ月連続で前年同月を上回っています。また、春闘では労使共に賃上げの機運が高まっているものの、中小企業では賃上げが困難な状況が続いており、日銀が継続的に利上げするほど日本経済は順調とは言えません。私は夏頃には日本株が下がると見ており、NISAで投資した人への冷や水にならないければいいが……と思っています。

NISAはいい制度ですが、政府はメリットだけを強調し、正しい投資の方法についての周知が不十分です。「箱」であるNISAの利点だけでなく、箱の中身、つまり投資の本来の有用性や正しい投資の方法を伝えるべきです。

日本人は投資が不得手でしょうか。

私はスイスを中心に多くの伝統的プライベートバンクで富裕層を見てきましたが、彼らの投資スタイルは徹底した長期投資です。欧州のお金持ちは、30年先、100年先にお金を残すことを考えています。対して日本人は毎月、運用状況を知りたいし、少し下がると投資をやめようかと悩みます。

日本には創業100年を超える会社も多く、長期志向のカルチャーはあったはずですが、いつの間にかアメリカナイズされ、短期志向になっている。本来は、長期で資産を増やす欧州流のほうが、日本人には合うと思います。

日本人が短期の値動きに右往左往してしまうのは、金融教育が不足しているからだと考えられます。欧州ではお金の付き合い方を含め、お金の本質を子どもの頃から教えられます。お金を目的によって分けて考えるのが普通で、①日常的に使うお金、②車の買い換えや家族旅行など、まとまった出費のためのお金、③子孫のために守るお金、④社会のために使うお金(寄付)、といった具合です。

対して日本人は投資で儲けることに意識が向きがちで、金融リテラシーが低いと言わざるをえません。お金を育てる、引き継ぐ、寄付するなどの発想が乏しく、短期的な視点、思考になってしまうのです。お金の本質や投資の基本について、書物などから自ら学ぶ姿勢が求められます。

どのような投資が望ましいですか。
投資戦略の基本は、「長期・分散・ほったらかし」です。幅広い資産に分散投資をして、ほったらかし、長期保有を徹底します。NISAの「つみたて投資枠」などを使って積立投資を行うと、毎月一定の額で買えるだけの量を買っていき、ドルコスト平均法が用いられ、平均買付単価を抑える効果も期待できます。

日本人は知らないヨーロッパ流・お金の4大機能

- ① 生活のために使う
- ② 大きな出費に備える
- ③ 子孫のために守る
- ④ 社会のために使う(寄付)



値動きに執着するほど お金の逃げられる!

コツコツ積み立てるよりも、短期で利益を狙う人が多い?

NISA(一般・つみたて)口座数

	口座数
NISA (一般・つみたて)	1800万7257口座
一般NISA	1075万3789口座
つみたてNISA	725万3468口座

出所=金融庁「NISA・ジュニアNISA利用状況調査」(令和4年12月末時点 確報値)

半数以上の人々が5年未満で投資信託を手放している!

投資信託の保有期間(n=2653)



出所=日本証券業協会「国民のNISAの利用状況等に関するアンケート調査について」(調査結果概要・2022年6月)

長期というと、1〜3年をイメージする人もいますが、少なくとも20年です。過去の実績を見ると10年の保有でもおおむね利益が出ますが、まれに損失が生じた例があり、20年を目安にしたところ、日本株への投資も20年続ければ儲かりそうですし、30年なら確実性がさらに高まります。投資していることも忘れて放っておく。それが精神的にも、得られる成果も一番いい方法です。毎日確認したからといっていい結果が得られるわけではない。日本人は全部知りたがる傾向がありますが、実は知らない情報、知っても役に立たない情報も多いものです。短期の値動きを確認するなど時間の無駄であり、その時間を読書などの自己投資や仕事に使ったほうがお金は増えるでしょう。

投資先は、世界中の株式に投資する投資信託が有力な選択肢です。論理的に考えて20年以上保有できるもの、つまり普遍的なものを選ぶことが重要です。IT、ChatGPTなど、特定のテーマに絞るシナリオファンド(テーマ型投資)は、ほとんどが何年か経てば見る影もない。仕事と同じで、目先にとらわれると失敗しやすいのです。喜びすぎても悲しみすぎても投資は失敗しやすい、平常心を保つことが大切です。さらに、下がったときにも持ち続ける忍耐力も必要です。

論理的思考、平常心、忍耐力を持ち、「長期・分散・ほったらかし」をすれば、お金を確実に増やすことができます。